

7.18 第 39 回 CIM 解決研究会のご報告

平成 30 年 7 月 25 日
CIM 解決研究会事務局

去る紀尾井フォーラムにおいて、36 名の参加者を得て第 39 回の CIM 解決研究会勉強会が開催されました。
勉強会冒頭では、当会参事を務める元建設省大臣官房審議官の天本俊正様よりご挨拶を頂きました。



「一般財団法人最先端表現技術利用推進協会(表技協)のご紹介」

(一財)最先端表現技術利用推進協会 町田 聡氏、稲垣 竜興氏

はじめに町田会長より、最先端表現技術利用推進協会(表技協)の概要について、目的、対象領域、活動内容などに関するお話を頂きました。つづいて協会の人材育成事業として取り組んでいる表現技術検定(建設 ICT)について検定運営委員会委員長の稲垣理事よりお話を頂きました。参加者の方からは「知らないこと(技術)を知るきっかけになりました。自分で調べてみようと思いました」といった感想を頂きました。



「社会インフラ画像診断サービス「ひびみつけ」のご紹介」

富士フイルム株式会社 植木 翔太氏

医療分野で培った画像解析技術を応用し、コンクリートのひび割れを高精度に検出する「ひびみつけ」を利用したインフラ点検の方法や、具体的な点検事例に関するお話を頂きました。参加者の方からは「とても参考になりました。トンネルでも活用できるようになってほしいです」といった感想を頂きました。



「現場の3次元化事例等」

CIM 解決研究会 福士 幹雄 代表理事 齊藤 学一

福士からは富山で行った講演に関する報告や TRENDCORE で作ったモデルについてお話をさせて頂きました。齊藤からは当会の設立経緯や今後の目標、一般社団法人日本の福祉を考える会についての説明が行われました。参加者の方からは「画像の使い方、活用方法、もっと TRENDCORE などうまく活用したいと思った」といった感想を頂きました。



勉強会終了後の懇親会には 27 名の方にご参加いただきました。沢山ご来場有難うございました。

